

ジオテック株式会社

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間：2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日)



発行日：2023 年 9 月 16 日

目 次

項 目	ページ
1. 組織の概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
4. 環境経営目標及びその実績	6, 7
5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画	8
6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

ジオテック株式会社

代表取締役 遠藤 智之

(2) 所在地

本 社

東京都豊島区東池袋 3 丁目 20 番 20 号 広宣ビル 3F

船橋機材センター

千葉県船橋市夏見 5 丁目 4 番

(3) 環境管理責任者及び連絡先

責 任 者

取締役専務 水上 遍理

担 当 者

管理部次長 鈴木 隆之

(4) 事業内容

地盤調査及び地盤補強工事

沈下修正工事

土壌汚染調査

(5) 事業の規模

- ・売上高：18.2 億
- ・従業員数：74 名
- ・船橋機材センター敷地面積：2,106.91 m²
- ・主要な設備：車両、建設機械

(6) 建設業の許可

一般建設業許可 東京都知事許可（般-4）第 82824 号

特定建設業許可 東京都知事許可（特-4）第 82824 号

☐ EA21 対象範囲

当社は、全組織・全活動を対象としています。

- ・登録組織名：ジオテック株式会社
- ・対象事業所： 本 社 ：東京都豊島区東池袋 3 丁目 20 番 20 号 広宣ビル 3F
船橋機材センター：千葉県船橋市夏見 5 丁目 4 番

2. 環境経営方針

〈環境経営理念〉

ジオテック株式会社は、地盤のプロ集団として、顧客の心に寄り添い、良質な地盤業務を提供し続ける企業を目指しております。

同時に、土壌汚染調査事業も展開しており、更に全社にて環境対策に取り組むことが重要であると考えています。

関係法令を遵守し、環境保全を重視した経営に徹します。

また、すべての部署において、下記事項に優先的に取り組み環境に与える影響を削減します。

〈基本方針〉

1. 省エネ型認定工法の採用により、鉄、セメント等の材料使用量を減らす

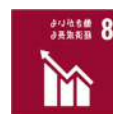
材料作製時の CO2 削減



2. ペーパーレス化を更に進め、省資源による仕事に努める

8.ペーパーレス化を実現できれば業務の効率化や生産性の向上、

さらには多様な働き方など



12.紙を作るにも樹木などの資源を大量に消費 13.CO2 削減 15.環境保全

3. 人員配置を再考し移動車両の削減やアイドリングストップにより燃料使用量を減らす

CO2 削減及びガソリンの節約



4. 事務所内作業の効率化を進め、残業を減らし節電効果を出す

エネルギー消費を抑える



5. 環境に関連する法規制・条例等を遵守し、環境配慮に努める

気候変動やその影響を止める



社内要所に環境経営方針を掲示し、全従業員にエコアクション 21

環境経営システムを徹底します。

パートナーシップで目標を達成しよう

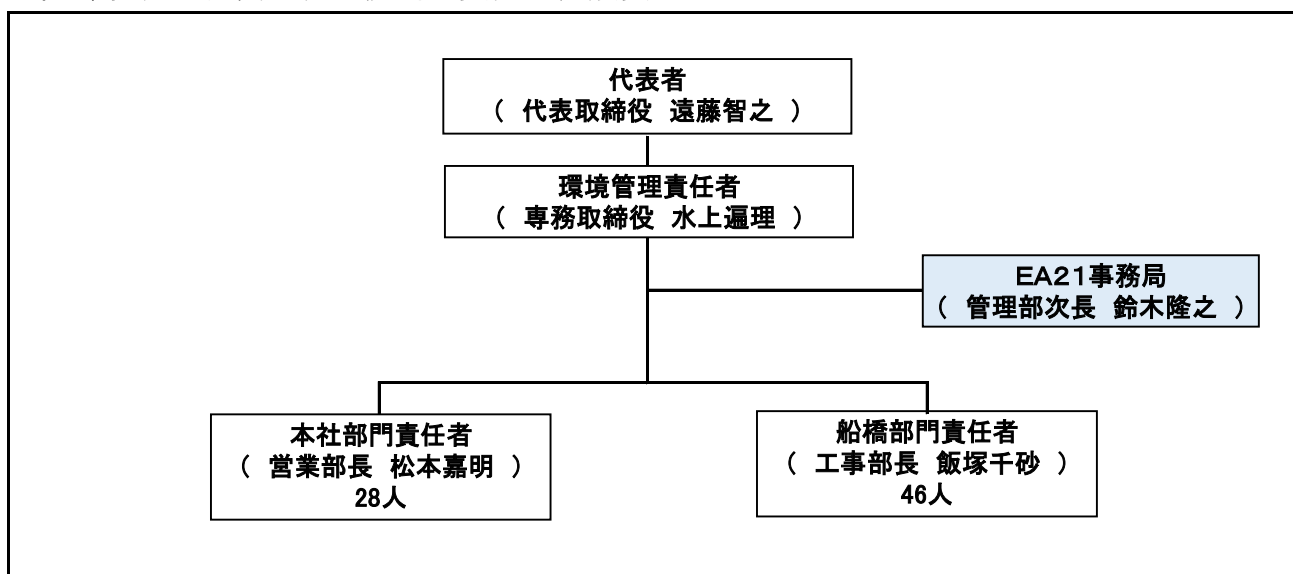


制定日 2019 年 7 月 19 日

ジオテック 株式会社

代表取締役 遠藤智之

3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割	責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 (要求事項1) 2. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化 (要求事項2) 3. 環境経営方針の作成、全従業員に周知 (要求事項3) 4. 実施体制の構築・環境管理責任者の任命 (要求事項7) 5. 代表者による全体の評価と見直し・指示 (要求事項14) 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 (要求事項4: 事務局担当) 2. 環境関連法規の取りまとめ (要求事項5: 事務局担当) 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 (要求事項6) 4. 環境コミュニケーションの実施 (要求事項9) 5. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防 (要求事項13) 6. 文書類の作成・管理 (要求事項12: 事務局担当) 7. 環境経営レポートの作成・公表 (事務局担当)、確認 (環責) 8. 代表取締役への報告 (要求事項7) 9. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施 (要求事項8) 2. 実施及び運用 (要求事項10) 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 (要求事項11) 4. その他
全従業員	1. 環境方針の理解及び環境問題の現状と環境への取組の重要性の認識 2. 環境経営目標、環境経営計画などに基づくEA21活動の実施 3. EA21活動に関する提案

4. 環境経営目標及びその実績

4-1. 環境経営目標

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標					
			(2018年度)		2022 年度	2023 年度	2024 年度			
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減 (方針4)	電力使用量		基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減			
			66,894	0.462	63,549	62,880	62,211			
			kWh／年	(東電)	kWh／年以下	kWh／年以下	kWh／年以下			
		2) 化石燃料使用量の削減 (方針3)	ガソリン		基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減			
			42,674	2.32	40,540	40,114	39,687			
			L／年		L／年以下	L／年以下	L／年以下			
			軽油		基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減			
37,617	2.58	35,736	35,360	34,984						
L／年		L／年以下	L／年以下	L／年以下						
	CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	226,961		215,613	213,343	211,073				
		kg-CO ₂ ／年		kg-CO ₂ ／年以下	kg-CO ₂ ／年以下	kg-CO ₂ ／年以下				
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減 (方針2)	一般廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減			
			3,860		3,667	3,628	3,590			
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	kg／年以下			
		2) 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減			
			55,150		52,393	51,841	51,290			
		kg／年		kg／年以下	kg／年以下	kg／年以下				
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 4 %削減	基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減				
		295		283.2	280.3	277.3				
		m ³ ／年		m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下				

【現場】

4	二酸化炭素排出量の維持	化石燃料使用量の維持管理(方針3)	軽油		基準値に対し 10 %以内	基準値に対し 10 %以内	基準値に対し 10 %以内
			87,774	2.58	96551	96551	96551
			L		L/年以下	L/年以下	L/年以下
		CO ₂ 量(kg-CO ₂)	226,457		249,103	249,103	249,103
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減(方針1)	資材使用量			基準値に対し 12 %削減	基準値に対し 13 %削減	基準値に対し 14 %削減
			11,839		10,418	10,300	10,182
			t		t	t	t
		資材使用量原単位	5.92		5.21	5.15	5.09
		t/百万円			t/百万円	t/百万円	t/百万円

※二酸化炭素排出係数は2019年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを適用した。

※年度表記は8月～7月の期間を適用した。

4-2. 運用結果（2022年8月～2023年7月）【全体】

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間		
			(2018年度)		目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5 %削減		
			66,894	0.462 (東電)	63,549	53,084	○
			kWh／年		kWh／年以下	kWh／年以下	目標値に対して16.6%減
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 5 %削減		
			42,674	2.32	40,540	38,701	○
			L／年		L／年以下	L／年以下	目標値に対して4.5%減
			軽油		基準値に対し 5 %削減		
37,617	2.58	35,736	39,527	×			
L／年		L／年以下	L／年以下	目標値に対して 10.6%増			
	CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	226,961 kg-CO ₂ ／年		215,613 kg-CO ₂ ／年以下	216,290 kg-CO ₂ ／年以下	△ 目標値に対して0.3 %増	
2	廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			3,860		3,667	3,992	×
			kg／年	kg／年以下	kg／年以下	目標値に対して8.9%増	
		2)産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			55,150		52,393	29,320	○
		kg／年	kg／年以下	kg／年以下	目標値に対して44.0%減		
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 4 %削減			
		295		283.2	73.1	○	
		m ³ ／年	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	目標値に対して 74.2%減		

【現場】

4	二酸化炭素排出量の維持	化石燃料使用量の維持管理	軽油		基準値に対し 10 %以内		
			87,774	2.58	96,551	92,230	○
			L		L/年以下	L/年以下	目標値 10%以内
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減	CO ₂ 量 (kg-CO ₂)	226,457		249,103	237,953	○
			kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	目標値 10%以内
		資材使用量	資材使用量		基準値に対し 12 %削減		
			11,839		10,418	10,538	△
5	資材使用量原単位		t		t	t	目標値に対して 1.2%増
			5.92		5.21	5.77	×
5	資材使用量原単位		t/百万円		t/百万円	t/百万円	目標値に対して 10.7%増

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

4-2. 運用結果（2022年8月～2023.7月）【本社】

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間		
			(2018年度)		目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5 %削減		
			41,624	0.462 (東電)	39,543	30,290	○
			kWh／年		kWh／年以下	kWh／年以下	目標値に対して23.4%減
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 5 %削減		
			21,260	2.32	20,197	10,360	○
			L／年		L／年以下	L／年以下	目標値に対して48.7%減
			軽油		基準値に対し 5 %削減		
			0	2.58	0	0	
			L／年		L／年以下	L／年以下	
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	68,553		65,126	38,030	○
kg-CO ₂ ／年	kg-CO ₂ ／年以下	kg-CO ₂ ／年以下	目標値に対して 47.3%減				
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			1,000		950	1,032	×
			kg／年	kg／年以下	kg／年以下	目標値に対して 8.6%増	
		2) 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			0		0	0	
			kg／年	kg／年以下	kg／年以下		
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 4 %削減			
		295		283.2	73.1	○	
		m ³ ／年	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	目標値に対して74.2%減		

【現場】

4	二酸化炭素排出量の維持	化石燃料使用量の維持管理	軽油		基準値に対し 10 %以内		
			0	2.58	0	0	目標値10%以内
			L		L/年以下	L/年以下	
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減	資材使用量原単位	CO ₂ 量 (kg-CO ₂)		0	0	目標値10%以内
			kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	
			0		0	0	
			0.00		0.00	0.00	
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減	資材使用量原単位	0.00		0.00	0.00	
			t/百万円		t/百万円	t/百万円	

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

4-2. 運用結果（2022年8月～2023年7月）【船橋機材センター】

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間		
			(2018年度)		目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5 %削減		
			25,270	0.462 (東電)	24,007	22,794	○
			kWh/年		kWh/年以下	kWh/年以下	目標値に対して 5.1%減
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 5 %削減		
			21,188	2.32	20,128	28,340	×
			L/年		L/年以下	L/年以下	目標値に対して 40.8%増
			軽油		基準値に対し 5 %削減	L/年以下	
			37,617	2.58	35,736	39,527	×
			L/年		L/年以下	L/年以下	目標値に対して10.6 %増
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			2,860		2,717	2,960	×
			kg/年		kg/年以下	kg/年以下	目標値に対して8.9%増
		2) 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減		
			55,150		52,393	29,320	○
			kg/年		kg/年以下	kg/年以下	目標値に対して44.0 %減
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 4 %削減		
			0		0.0	0.0	
			m ³ /年		m ³ /年以下	m ³ /年以下	

【現場】

4	二酸化炭素排出量の維持	化石燃料使用量の維持管理	軽油		基準値に対し 10 %以内		
			87,774	2.58	96,551	92,230	○
			L		L/年以下	L/年以下	目標値 10%以内
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減	CO ₂ 量 (kg-CO ₂)	226,456		249,102	237,953	○
			kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /3ヶ月以下	kg-CO ₂ /年以下	目標値 10%以内
		資材使用量原単位	資材使用量		基準値に対し 12 %削減		
			11,839		10,419	10,539	△
			t		t	t	目標値に対して 1.2%増
			5.92		5.21	5.77	×
			t/百万円		t/百万円	t/百万円	目標値に対して10.7%増

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」 +5%以上で未達成「×」と評価する。

5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	取組結果とその評価	担当	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	生産設備の適正管理	テレワークが標準となり、出社人数激減していることから、電力使用量を削減することができた。 残業も削減されている。	本社 鈴木 船橋 飯塚	継続して実施
			空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)			
			照明器具の見直し(LED照明等)			
			働き方改革での残業削減による削減			
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン 停車時のアイドリングストップの励行	本社のガソリン使用料は、目標値を達成した。営業職の車両以外の交通手段の併用を実施 目標値は、未達。遠方の施工現場が続いたことや、施工日数の少ない現場が多く、移動距離が増加したことが原因と思われる。	鈴木	継続して実施
			急加速・急停車の防止			
			定期的にタイヤ空気圧をチェック			
			冷房の控え目使用			
			車両以外の交通手段を併用			
			働き方改革での残業削減による削減			
			軽油 停車時のアイドリングストップの励行	一部アイドリングストップなどの効果が見られたが、目標値は、未達。遠方の施工現場が続いたことや、施工日数の少ない現場が多く、移動距離が増加したことが原因と思われる。	鈴木	継続して実施
			急加速・急停車の防止			
			定期的にタイヤ空気圧をチェック			
			冷房の控え目使用			
			車両以外の交通手段を併用			
			働き方改革での残業削減による削減			
		CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	109,067			
		CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	114			
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	分別管理の周知徹底 ミスコピーの削減 ミスコピーの裏紙使用 シュレッター排紙のリサイクル化 電子メディアによるペーパーレス化	社内で作れるペーパーレス化がより進んだが、部署により削減余力がある為、今後もペーパーレス化を進めていく。 顧客にもデータ納品を積極的に進めていくなどにより、今後もペーパーレス化を進めていく。	鈴木	継続して実施
		2) 産業廃棄物排出量の削減	コンテナ廃棄物の分別 フレコン処理の適正化	廃棄物の分別により、再利用できるものは、出来る限り再利用でき大幅に削減	飯塚	継続して実施
3	水使用量の削減		節水の意識を高め、徹底 節水シールの貼り付けとポスター掲示 節水弁取り付け	左記の手段を徹底する。	鈴木	継続して実施

【現場】

4	二酸化炭素排出量の維持	化石燃料使用量の維持管理	機械の空運転の抑制 機械の効率的運用 資材使用量削減に伴う使用量抑制 働き方改革での残業削減による削減	目標は達成したが、一時的なものでないよう、更に意識を高める。	飯塚	継続して実施
5	新工法による地盤改良事業の資材使用量の削減		新工法のマニュアル化による安定化 新工法の作業の標準化 新工法の継続的改善	新工法採用が進まなかった。	松本	継続して実施

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

区分	適用法条例	遵守評価
廃棄物	廃棄物処理法（産業廃棄物）	○
	豊島区の処理及び再利用に関する条例（本社、一般廃棄物）	○
	船橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例（船橋機材センター、一般廃棄物）	○
リサイクル	家電リサイクル法（家電品）	○
	小型家電リサイクル法（小型家電品）	○
	自動車リサイクル法（社有車）	○
大気汚染	自動車 NOX・PM 法（社有車）	○
	フロン排出抑制法	×
水質汚染	浄化槽法	○
都道府県条例	東京都環境確保条例	○
	千葉県環境確保条例	○

2023年8月に確認した結果、フロン排出抑制法に定められた簡易点検が行われていませんでしたが、関連機関からの指摘、訴訟、外部からの指摘も過去三年間ありません

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

運用開始から4年目となり、コロナもほぼ収まり以前の活動を取り戻してきています。

本社の目標値はほぼ達成されましたが、船橋の目標値の達成度が極端に低い項目がありました。

化石燃料使用量で特に船橋のガソリン使用量増は原因とし遠方の施工現場が続いた事や、施工日数の少ない現場が多く、また、コロナの収まりによって自由に活動できるようになったことが原因であると考えております。

新工法の採用による削減も前期に比べて進んでおらず、今後更なる積極的な新工法採用を進めたいと考えています。

社内のできるペーパーレス化もほぼ達成できていますが、顧客へ提出する調査報告書や工事報告書の電子納品がまだまだ進んでいないことが今後の課題です。

引き続き再生可能エネルギーである太陽光発電や風力発電の事業にも参加し、SDGSへ積極的に取り組みにも力を入れていきたいと考えています。

現在は月一度開催される会議で各項目の主な数値を報告事項に盛り込むようにしており、全社に注意喚起をしています。全体の数値目標は未達成となりましたが、本社の数値目標が100%達成できたことは評価できる結果となったと感じています。

今後も普段からの数値を監視して全社にこの取り組みを浸透させ、更なる削減を目指したいと思います。

各社員が常に環境への配慮を心掛けて取り組みを進めてもらいたい。